



2026年5月15日

D X推進体制の高度化に向けた本部組織の改定について

千葉銀行（頭取 米本 努）は、パーパス・ビジョンの実現に向けて、D X推進体制のさらなる高度化を図るため、2026年6月1日(月)付で「D X事業本部」を設置します。これに加えて、「D X事業本部長」を配置するとともに、本部組織を改定します。

記

1. D X推進体制の高度化に向けた本部組織の改定

当行グループは、A Iをはじめとしたデジタル技術の革新的な進展を戦略的に捉え、地域社会全体のデジタル・トランスフォーメーションに貢献する「地域まるごとD X」の実現を目指し、2020年4月に配置したグループC D T O（最高デジタル・トランスフォーメーション責任者）を中核に据え、デジタル戦略の高度化に取り組んでまいりました。

近年では、A Iの活用も、導入を検討する段階から業務への組み込みを前提とした実用段階へと移行しています。これに伴い、価値創出のあり方も、個々の技術単位にとどまらず、業務プロセスやデータ、ガバナンスに加え、決済や顧客接点を含めたサービス提供全体にわたる統合的な取組みへと広がりつつあります。

こうしたなか、2026年4月にスタートした第16次中期経営計画の注力領域として掲げる「D X・A I」及び「地域エコシステム」などへの取組みを一層加速させていくため、新たに関連部を統括する「**D X事業本部**」を設置するとともに、「**D X事業本部長**」を配置します。

また、これまでキャッシュレス決済やカード発行などの業務を担ってきたカード事業部の役割を発展的に見直し、「**ペイメント事業部**」とするほか、データ分析・利活用の高度化に向けた機能拡充にあわせて、デジタル戦略部内に設置するA Iソリューション室を「**データ・A Iソリューション室**」へと名称変更します。

D X事業本部及びグループC D T Oが兼務するD X事業本部長のもと、その配下の組織として、「デジタル戦略部」「リモート戦略部」「ペイメント事業部」を設置することにより、D Xをはじめとした各戦略の実現を一体的かつスピード感をもって推し進めてまいります。

今後も、最高の顧客体験の創造に向けたデジタルソリューションの提供を通じて、お客さまや地域社会の生産性向上に一層貢献するとともに、A Iネイティブ人材の育成やA Iエージェントの開発をさらに強化し、目指す姿として掲げるD X・A Iカンパニーへの変革を加速させてまいります。

2. 実施日

2026年6月1日（月）

以上

本部組織の概要

(別紙)

